

被災者支援活動ニュース

大平喜信衆院議員 被災地を駆ける 国会閉会後来県し、宣伝、訪問、懇談、拡大にと、フル活動



大平喜信衆院議員は、15日未明、国会が閉会すると、“まず、被災地に”と、朝一番の飛行機で来県。15・16日の二日間、自治体首長との懇談、被災者訪問、街頭宣伝、「青年のつどい」、党勢拡大と、まさに、分刻みの活動でした。

街頭宣伝では、「被災者のみなさんがこんなに苦しんでいるときに、なにがカジノでしょう、年金カットでしょう」と怒りをこめて訴え。自民、公明、維新の悪政連合を厳しく批判し、「き

たるべき総選挙で厳しい審判をくだしましょう。野党と市民の共闘の勝利、日本共産党の勝利のため、ぜひ、大きなご支援を」と訴えました。「青年のつどい」では、大平さんの話を聞いた短大生が民青同盟に加盟しました。また、訪問活動で、「しんぶん赤旗」日曜版読者が一名ふえました。



左から石田耕太郎倉吉市長、宮脇正道湯梨浜町長、吉田秀光三朝町長と懇談する大平喜信衆院議員



滞在中、一人でも多く、一件でも多くと、被災地を訪問し、被災者の話をきく大平喜信衆院議員

**毎週金曜日の「訪問・聴きとり」ボランティアは、年内終了とします。
来年からは、震災が起きた「21日」の月1回で継続したいと思います。**